

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月12日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972400315
法人名	医療法人 一心会
事業所名	グループホーム よりあい
所在地	〒781-1611 高知県吾川郡仁淀川町岩丸43番地1
自己評価作成日	平成22年1月6日
評価結果市町村受理日	平成22年7月2日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年1月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.nippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972400315&amp;SCD=3201">http://kaigo.nippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972400315&amp;SCD=3201</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームは、緑と清流の自然に囲まれた環境の中で、ご利用者がそれぞれのペースでゆったりと、生き生きと暮らせるよう本人本位の視点で支援している。30～60代の幅広い年齢層の職員は、ご利用者を人生の先輩として敬い、色々な関わりを持ち、笑って過ごせる時間を大切に支援を心がけている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は過疎化が進む山間地域にあり、地域住民の参加を得た避難訓練はできていないが、運営推進会のメンバーが地域へ働きかけ、地域の防災訓練が計画されるようになるなど、地域に密着した事業所として存在感を増している。また、事業所の近くには母体法人の医療機関があり、職員の退職や異動などがあっても、法人全体で対応できる体制がある。利用者は、縫製工場を改修した木のぬくもりが感じられる広々とした共用空間で思い思いに過ごしており、日常的に散歩や買物に出かけ、また、地域の行事に参加したり、事業所の行事を通じて地域住民と交流している。また、事業所では、利用者の自主性や主体性を大切にしたサービスを心掛けていることから、利用者の表情には安心して余生を楽しもうとする気持ちが窺われ、今後もアットホームな運営が期待できる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしさを保ちながら生活が送れるようサポートしていくことを理念に掲げ、すべての職員が理念を基に地域の方や利用者に関わりを持っている。	利用者本位に、穏やかに生活を送ることが出来るよう、職員会や利用者のサービス提供時など折りに触れ話し合い、また、統括本部長からも話をするなどして理念を共有して実践につなげている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、地域での行事に参加、交流を深めている。また、事業所自体でも夕涼み会などイベントを実施し地域の方をご招待している。	町内会に加入し、神祭等の行事に参加したり、事業所が行う納涼祭などの行事に地域住民の参加を呼びかけているが、新インフルエンザ対策もあり、例年より控えている。利用者の知人、友人が来訪時に野菜等の差し入れを受けるなど、地域と日常的に交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族や一般の方から介護の相談を受けたり、地域住民や児童の見学受け入れ、認知症の理解や接し方など説明をしている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームから報告し、参加メンバーからの質問、意見、要望を受け、双方向的な会議になるよう努めている。その内容は会議後に職員全員に周知し、改善に向けて話し合いをしている。	運営推進会議は3カ月に1回開催している。事業所から利用者の現状や事業の報告があり、参加者からも意見等が出されている。地域の防災訓練に事業所が参加することの提案があり、事業所で検討するなど、会議を活用している。	21年度から制度化された外部評価の実施回数の特例要件に、運営推進会議は年6回以上とされていることから、再検討することを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターや町の介護保険担当者との連絡は積極的に行い、各届出や事故報告、事業所の相談や町からの相談など双方の連絡を取り合っている。</p>	<p>利用者の相談事や介護保険の運用等で解らないことがあれば聞き、また、行政から利用希望者の件や研修会について照会があるなど、日頃から関係づくりに取り組んでいる。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会やミーティングを行い、全員が理解できている。</p>	<p>身体拘束の弊害は職員全員が理解している。無断で外出する利用者については、外出時に職員がさりげなくついていくなどして対応している。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会やミーティングを行い、全員が理解できている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>町の担当者、社協の担当者と話し合い、活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面を見ていただきながら、ご本人とご家族に説明し、同意を得たうえで署名・捺印を受け、書類をお渡ししている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心がけている。利用者の不安や意見は職員間で話し合い、日々のケアに活かしている。家族とは、お便りや訪問時に問いかけ、なんでも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。	家族会は組織されていない。新年会等の行事の時に家族間の交流や職員を含めた話し合いはしているが、現在まで要望や意見等は出ていない。	家族は、身内が世話になっていることで、意見等を言い出しにくいことを理解し、引き続き家族の行事参加の機会を捉え、家族のみで懇談し、意見等を気軽に言える場面づくりを期待したい。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りの後やカンファレンス時、仕事の合間を見ては意見を聞くようにしている。出された意見については全体で話し合いを持っている。	職員会や毎朝の申し送り時などの機会に職員からの意見等を聞くようにしている。出された意見等については職員全員で話し合い、できることから運営に反映させている。法人全体のリーダー会で意見を述べる機会もある。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握し、効率よく就業できるように努めている。また、資格取得などにも協力し、その努力に対し反映できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修はもとより、外部の研修も必要な職員には、受講するよう指導している。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他の事業所を訪問して意見交換をしたり、当事業所で研修会を実施するなどの取り組みを行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の思いを受け止め、安心して利用できるよう努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の話をよく聞き、事業所としてどのような対応をしていくか話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の話をよく聞き、求めていることを把握し、必要なサービスにつなげていくよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるため教えられることは多くあり、そういった場面が多くもてるように声がけもしている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の様子を伝えることにより、職員の思いや家族の思いを確認しながら支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの商店に買い物と一緒に外出する等している。</p>	<p>入居時に、これまでの地域での生活を把握しており、希望があれば馴染みの雑貨店に買い物に行き、知人等と会い、会話を楽しめるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の人間関係を全職員が周知しており、利用者同士の関係が上手くいくように職員が調整役となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居された方が通りがかりにお茶を飲みに来てくれたりしている。また、他の施設に入られた方の面会に行くなどしている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族も含め話し合いをし、本人の希望する箇所にも足を運ぶなどの支援をしている。</p>	<p>入居時に確認した利用者の好みを念頭に、日常生活の言動等から把握するように努めている。把握の困難な利用者には、日常の会話の中からその思いを推測するとともに、利用者が安心してその人らしく暮らし続けることができるよう利用者本位に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や家族から情報提供をお願いし、近所の方にもケアの参考になる事柄を教えてもらったりしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活リズムの違い、できる事との違いがあるので、暮らしぶりの流れにそって全体像を把握していく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の話聞き、気づきやアイデアを取り入れていくようにしている。</p>	<p>利用者や家族の希望を聞いているがあまり意見はなく、職員の気づきなどを基本に本人本位の介護計画を作成している。利用者の状況に変化等があれば、その都度話し合い、見直している。</p>	<p>介護計画に沿って、日々の実践に取り組むことが大切であり、出来るだけ家族の意見を汲み取り、共に支え合っていく家族の意向を反映する工夫を期待したい。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録を残すことはもちろんのこと、勤務に就く前には口頭での申し送りとともに、記録の確認も行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族から相談、要望があれば、その時に必要なサービス（通院や外出等）も受けられるよう支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>いつでも訪問は歓迎しており、必要な時にはこちらから協力を呼びかけている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診診断</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族が希望するかかりつけ医に診てもらえるよう支援している。</p>	<p>入居時に家族の同意を得て、協力医療機関に受診するようにしている。専門医の受診介助は家族が対応しているが、都合の悪い時は職員が対応するなど柔軟に支援している。協力医療機関の医師が週1回訪問診療しており、その際に受診結果の情報共有は出来ている。</p>	
31		<p><b>○看護職員との協働</b></p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設病院の担当看護師の訪問が週2回あり、状況に応じていつでも気軽に連絡がとれる体制となっている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には見舞いに行き、医療機関との連携もできており、情報の共有もできている。</p>		
33	12	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化した場合における対応指針に沿って、意向を確認している。また、本人や家族の意思を踏まえ、医師、職員が連携を取りその方に最良と思われる終末期を迎えられるよう支援している。</p>	<p>看取り支援について、入居時に利用者や家族と話し合い、指針に基づき意向を確認し同意書も作成している。母体法人の医療機関が近くにあり、家族等の希望に沿って安心して納得がいく終末期を迎えることができる支援体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変した場合は、すぐに対応できるように併設病院との連絡は密に行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防署の指導による訓練も受けており、職員間でもシミュレーション訓練を行っている。	事業所の避難訓練は消防署の協力のもと実施しているが、地域住民の参加、協力は高齢化や仕事の都合で得られていない。地域の防災訓練の計画があり、参加を検討している。非常食料等の備蓄は、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルの基準の目安（3日分）から十分でない。	災害時には地域住民の協力が欠かせないため、地域の自主防災活動を通じて協力体制を確保するとともに、災害時の備蓄は、高知県社会福祉施設地震防災対策マニュアルを参考に検討することを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	一人ひとりの人格を把握し、気づいたことはすぐに職員間で話し合い、誇りを傷つけないように心がけている。	難聴のある利用者への声かけの大きさや、言葉による行動制止などについて、日々のケアの中で職員同士で注意し合い、利用者の誇りを傷つけないよう取り組んでいる。また、利用者が一人になりたい時は、安全かつ閉じ込めにならないことを前提に居室の中から鍵をかけることが出来るようにしている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者に合わせた声のかけ方をし、本人が決める場面作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、それに捉われず利用者の思いを尊重した支援を心がけている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>朝や入浴後の着替えは本人の好みで選んでもらっている。希望があればお化粧品のお手伝いや、美容師免許のある職員がカットもしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材料の水洗い、皮むき、調理、下善、台拭き、食器洗い等できる場面で参加してもらい、職員も同じ食事を一緒にとっている。偏食のある方には差し替えの副菜を調理している。</p>	<p>献立は法人の栄養士が利用者の希望を聞き作成している。食事の下ごしらえや後片付け等は、利用者の持てる能力に応じてそれぞれ取り組んでおり、利用者と職員と一緒に食事の時間を楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>医師、栄養士の指示をもらい、その方に応じた支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアの重要性を理解し、本人の習慣や意向を踏まえ個別に見守り介助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間や習慣を把握しその方に合った支援をしている。	排泄チェック表により、排泄パターンを把握し、おむつはずしに取り組んでいる。利用者の状態に応じて、日中はトイレを使用し、夜間のみ尿取りパットを使用している。おむつ使用の利用者は3人いるが、状態に応じてパットを使用するなど、排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立やおやつメニューで繊維質の多いものを取り入れたり、散歩や屋内での歩行を促すなど支援している。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望に応じて、入浴したい日や希望の時間に利用してもらっている。	入浴の時間帯は、午前、午後に設定しており、利用者の希望に沿って支援している。夜間入浴は人員体制の関係から行っていない。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し生活リズムを整える工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時や臨時に薬が処方される度に申し送りを行い、薬の内容が変わる度に担当看護師とも連絡を取り合い状態の経過や変化を話し合っている。また、利用者の服用している薬剤情報は常に新しい物を個人ファイルに綴じている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な分野で力を発揮してもらえるよう、利用者ができる場面づくりに努めている。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの楽しみや習慣に合わせて外出し、特定の場所に外出希望の際は、あらかじめ予定を立てて職員の勤務調整をしている。	気候の良い時期は、近隣を散歩したり、地域の商店に買い物に行くなど、気軽に外出している。季節に応じた花見等、気分転換にも配慮した外出支援を行っている。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談しながら利用者に合わせた対応をしている。希望時は買い物に付き添い、支払い、お釣りの確認などの支援をしている。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて電話を掛けてもらったり、手紙の代筆など支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じられる装飾を行い、テレビや会話音に気を付けている。</p>	<p>壁面には、利用者の共同作品、梅の花の貼り絵、絵手紙などを飾り、ゆったりした共用スペースで和やかにくつろげる雰囲気づくりに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>屋外にテーブルと椅子、廊下に椅子を置き廊下には季節の装飾を行っている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>出来るだけ馴染みの物を持ってきてもらえるよう働きかけている。</p>	<p>清潔な衣装ケース、テレビ、ソファ等、それぞれ利用者の個性に合わせ、利用者の顔の見える、生活感のある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方に合わせた環境整備に努めている。</p>	/	/

V アウトカム項目		
項目	該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない